

# 令和2年度 評価報告書

先日は、保育園に関するアンケートのご協力ありがとうございました。  
本園保育士の自己評価とあわせて、結果報告をさせていただきます。  
本園の現状をご理解していただく参考になれば幸いです。  
今後とも結果を基に、より良い保育を行うように努めて参ります。

## 1. 本園の保育方針

- ・ 一人ひとりの子どもが安心して園生活を送れるように信頼関係を築く。
- ・ 自立に向けた育児を。
- ・ 伝承文化を活かした保育。
- ・ 楽しい食事で健康に。
- ・ 保護者と園が力を合わせる子育て。
- ・ のびのびと遊べる環境作り。



## 2. 保育目標

- ・ 子どもを尊重し、保護者と共に力を合わせて心身共に健康で、やさしく思いやりがあり自分で行動できる子どもに育てる。

## 3. 重点的に取り組む目標、計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、職員自らが客観的に自己、自園を見る目を養い、保育内容の確認、資質向上に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

## 4. 評価項目の達成及び取り組み状況

- 育計画と内容…保育方針に沿った年間指導計画を作成し、子どもの発達段階にあった内容になるようにクラスごとに保育指導案を作成し、月末に反省と共に評価を行い、保育に活かせるようにしている。また、0・1・2歳児は、保育所保育指針に基づき個別計画を作成している。
- 保育のあり方、子どもへの対応…一人ひとりの子どものよさを認め、保育士が客観的に子どもを見る目を養い、発達に応じた援助に努める。肯定的な声掛けを行うことで子どもの自己肯定感を高める。子どもが示す様々な欲求に適切に対応し信頼関係を築く。子どもに強制するのではなく子ども自らが気づき活動できる。
- 環境構成… 保育室、園庭の遊具が安全かつ清潔であるように毎月点検表に基づいた点検を行った。特に今年は触れるところを重点的に消毒し、感染予防に努めた。また、子どもが安定して遊び、興味関心、創造性を育む環境を整え、必要な遊具を揃え、時間を保証した。
- 研修・資質向上… 全ての職員は、必要な知識や技能を身に付け人権に配慮した保育を行うための研修を受けた。コロナ禍の今年度は、Zoomによる研修にも積極的に参加した。個別の支援に関しては個別ごとに発達について公認心理師と共に支援の方法を学び実践した。参加者は内容を総括し、全ての職員が研修内容を理解し、自己課題の分析、保育技術の向上に努めている。園児個別に関する指導援助については必要に応じ、クラス単位で勉強会を開催した。
- 保護者への対応… 保護者と必要に応じて面談等を行い子どもの成長を共に考え支援に努めている。保護者からの意見や相談に誠意を持って対応するよう心がけた。しかし、コロナ禍の状況では保護者との接触が減少してしまい、相談のきっかけづくりが難しかった。今後このような状況下でどのようにコミュニケーションをとっていくのが課題でありできる限り改善していきたい。

## 5. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子ども達一人ひとりが、より良い環境の中で安定した保育を受けられるように保育計画や保育記録を通して、自らの保育実践を振り返り、達成できたこと、出来なかったことを自己評価した。評価した結果に基づき、学びの場を確保し、資質及び専門性の向上を図り努めていきたいと思っております。また、本園の保育方針・内容を保護者へも十分に理解していただけるように保護者会などを通じ今まで以上に伝えていきたい。

## 6. 今後の目標、課題

子どもの発達段階に応じた援助が出来るように保育士は自らの保育や、一人ひとりの子どもの発達段階を把握し、より良い保育を目指し、現況に満足し留まることなく、自主研修やクラス毎の勉強会等を行い自己研鑽に努める姿が見られました。今後も職員一同、より一層努力していきたいと思っております。保護者アンケートを行うことで、保護者の満足度、求められる保育園の姿など把握し確認することができました。少数意見も貴重な意見とし、職員間で話し合い、共通理解することで保護者に満足していただけるように努めていきます。

	A	B	C	D
① 本園の教育方針を理解している	68	29	3	0
② 子どもさんは、保育園に行くことを楽しみにしている	71	23	3	3
③ 保護者は、安心して保育園に通わせている	72	25	3	0
④ 保育園は、園児を理解し、園児の育ちを援助している	72	25	3	0
⑤ 当園の行事（入園時、配布しおり参照）は園児にとって充実した物になっている	53	35	6	6
⑥ 職員に子育てや相談事を気軽にできる	61	23	10	6
A:あてはまる B:大体あてはまる C:あてはまらない D:わからない (%)				

※保護者の方のアンケート結果は、左記の通りです。  
(回収率:90%)  
整数で四捨五入しています。



57%の方が全ての項目で「あてはまる」「大体あてはまる」の評価をいただきました。  
園の方針をご理解して頂きありがとうございます。貴重なご意見、質問も頂きました。

#### 《当園の行事について》

昔から日本に伝わる行事や、季節の行事に関しては子ども達に無理（遊びを割いての製作等）のない範囲で行っています。また、3・4・5歳児は発表会や運動会は繰り返し何度も練習が必要な内容ではなく普段の生活の中から子ども自身が伝えたいことを『生活発表会』とし、親子で楽しく遊べる内容を『運動会』としています。但し、今年はコロナ禍の中で出来る事が狭められたため内容や変更を行い、時間短縮などの感染予防を優先しました。

0・1・2歳児の行事は、クラスごとに行いました。行事を意識できるようなものを飾ったり、季節のわらべうたを歌ったり日常を大きく変更することはしませんでした。保育園の時期は出来るだけ失敗経験を少なく自己を肯定できる経験を積み重ねることが大切です。自己肯定感が高くなると失敗しても乗り越える力になります。そのためにも、日常と違う経験は多くは必要ないと考えています。ご理解をお願いします。

#### 《職員に子育てや相談事を気軽に出来る》

「あてはまらない」が昨年より7%増えています。原因として、3・4・5歳児の受け渡しを玄関で行い直接担任と話す機会が減ったことが大きな原因だと思います。今後の送迎に関しては状況を踏まえ子どもたちの安心安全を第一に考え判断していきます。相談事はいつでも受け付けます。担任はなかなか時間が取れない場合もありますが些細なことでも声をお掛けください。

#### 《送迎の際、風雨を避ける場所が欲しい》

密を避けるため玄関外でお待ちいただいています。暑い日、寒い日、風雨の日もご協力いただいております。感染症が今後どうなるかわかりませんが、今の状況が続く場合は、車内でお待ちいただくなどお願い致します。

#### 《玄関の消毒液が出すぎる》 非接触タイプを設置しましたが調整が効かずご迷惑をお掛けしています。

#### 《その他》

「小学校では先生の話最後まで聞くことが学びの基本となりますがこの基礎をゆなの木保育園で育ててくれた」「給食が美味しいおかげで家でもいろいろと食べてくれるようになった」「子どもの気持ちに寄り添って頂いている」「安心して預けることが出来る」「コロナ禍の中で感染防止に配慮していただいた」「帰りの車の中で子どもがわらべうたを歌ってくれる」等の暖かいご声援も多数いただきました。職員の働く意欲や励みになります。ありがとうございます。  
全ての項目に「あてはまらない」とご意見いただいた方もいらっしゃいました。機会があれば理由もお聞かせいただければ幸いです。

#### 《保護者会後のアンケートより》

##### 《童謡を歌わないのは何故か》

本園では音楽教育は全てわらべうたで行っています。0・1・2歳児は、保育士が一对一で向き合って顔を触ったり、体に触れたりしながらスキンシップを取り、信頼関係を深めます。3・4・5歳児になると友達と手をつなぎ役割を交代したり、嫌だけど鬼になったり集団で遊ぶ楽しさを感じます。わらべうたは、童謡と違い音域が狭く構成音も少なく子どもの声帯に無理なく清潔に歌うことが出来ます。ピアノの音に合わせて音域の広い歌を歌おうとすると怒鳴り声になったり、音がずれてしまったりします。構成音の少ないわらべ歌を正確に歌うことで聞く力も育ってくるといわれています。

##### 《その他》

「写真で日常を知ることが出来た。」「わらべうたのを歌ったり、相談役の話をもっと聞いたりしたい。」「安心して預けることが出来ました」「丁寧に保育してもらっている」など本園の方針をご理解していただいた嬉しいご意見も多数いただきました。また、「先生たちが研修等で学んだことを実践され子どもを大切にしてくれるので穏やかに過ごせている」などの言葉も頂きました。

※ お忙しい中アンケートにご協力頂きましてありがとうございました。

苦情相談等は、下記の委員まで（園でも、相談や苦情も受け付けます）

第三者委員

本多 剛 099-222-3188

鈴木 俊二 0995-62-2583